

Anniversary

2024年1月11日にインテックは創立60年を迎えました

インテックは、1964年1月11日、前身である「株式会社富士計算センター」として誕生し、2024年1月11日に創立60年を迎えました。これまで支えてくださったお客さま、地域のみなさまに心より御礼申し上げます。

創業以来、電気やガス、水道のように「いつでも、どこでも、誰もが」自由にコンピュータの恩恵を受けることができるコンピュータ・ユーティリティ社会の実現を目指し、多くのチャレンジを続けてまいりました。60年を経て、それが実現しつつある今、これからも『豊かなデジタル社会の実現』を目指し、チャレンジを続けてまいります。

創立60年を記念し、1月から記念ロゴマークを使用した交通機関への特別広告を掲出しています。

また、インテック公式ホームページに、

創立60年特設ページを開設しました。インテック60年の歴史、商品・サービスの変遷を、写真や動画で振り返るコンテンツを公開しています。ぜひご覧ください。



インテック
創立60年特設ページ

60th
Anniversary

CONCEPT: 「未来ビジョンを指し示すコンパス」をモチーフに、これからもITで豊かな社会の実現を目指し、チャレンジし続ける企業姿勢を表現。右がりの上昇は、ビジョン(ミッション)実現へ向け、向上心を持って成長・進化を続けながら、豊かな未来へ導いていくITリーディングカンパニーの推進力・総合力を象徴しています。



東京国際空港(羽田空港)の掲出広告

Social Contributions

総登録数8000名! 国内最大級「GROWTH INDUSTRY CONFERENCE 2023」に協賛 インテック賞は、株式会社Sales Markerに

2023年11月16日、東京・渋谷ヒカリエにて、フォースタートアップス株式会社とCIC Japan合同会社が共催したイベント「GROWTH INDUSTRY CONFERENCE 2023(以下、GRIC 2023)」に、インテックはGOLDスポンサーとして協賛しました。

GRIC 2023は、成長産業に特化した国内最大規模のハイブリッド型のグローバルカンファレンスで、「日本のスタートアップエコシステムをグローバル基準へ」をテーマに、国内外のトップティアエコシステムビルダーが集う場です。国内外からVC(ベンチャーキャピタル)、スタートアップCEO、CVC(コーポレートベンチャーキャピタル)などが集結し、全31社のスタートアップが登壇した「GRIC PITCH」の審査員は約140名、セッションの登壇者は約150

名となり、来場者数2500名、総登録数8000名が参加しました。

「大きな事業成長に挑むスタートアップと世界の架け橋になる」を目指すピッチコンテスト「GRIC PITCH」では、4つのテーマに31社のスタートアップが登壇し、事業に込めた理念や成長可能性をアピールしました。

インテックは、「UPRISING DIGITAL」のテーマに審査員として参加し、「AIセールス」を実装したインテントセールスSaaS「Sales Marker」を提供する、株式会社Sales Marker(旧社名、CrossBorder株式会社)に、インテックのSPONSOR PRIZE(インテック賞)を授与しました。

また、インテックの「SPEED DATING*1」、および「REVERSE PITCH*2」も盛況で、国内外のスタートアップ、ベンチャーキャ

ピタルならびに事業会社に対して、インテックのオープンイノベーションへの取り組みを紹介する場となりました。

お問い合わせ先

株式会社インテック
テクノロジー&マーケティング本部 事業企画部
オープンイノベーションセンター
E-mail: oic_info@intec.co.jp

*1 SPEED DATING: スタートアップと企業が1社7~8分と短く限られたなかで高速に打ち合わせを行うネットワーク企画。まず企業側から自らの課題やニーズを伝え、それに対してスタートアップ側からは解決案を提示し、最後に次のステップに進むための課題やタスクなどを議論します。

*2 REVERSE PITCH: スタートアップ企業が出資や協業を求めて、ビジネスアイデアを提案する従来のピッチとは逆に、スポンサー企業側が事業概要や課題をプレゼンし、スタートアップ企業からソリューション提案を募ること。



REVERSE PITCHの模様



SPEED DATING会場の様子



インテック賞の受賞(株式会社Sales Marker)

宮崎県延岡市と、デジタル技術を活用した地域創生に関する連携協力協定を締結

2023年10月26日に、インテックは、宮崎県延岡市(以下、延岡市)と、デジタル技術を活用した地域創生に関して、相互の連携・協力活動を推進するための、連携協力協定を締結しました。また、延岡市が保有する延岡駅西口街区ビルにサテライトオフィスを設置する進出協定も締結しました。

延岡市は、市民が安心・安全に生活するとともに、豊かさや幸せを実感できる「まち」を実現するため、デジタル技術を活用した地域課題の解決や魅力向上を図るなど、「市民一人ひとりが主役の時代をつくるスマートシティ推進事業」に取り組んでいます。今回の連携協力協定の締結により、インテックと延岡市は、デジタル技術を活用した地域創生、並びにスマートシティ政策の取り組みを開始します。災害時におけるIT活用の提供や、住民のデジタル活用に関する支援などを行い、地域の更なる活性化

と市民サービスの向上を図っていきます。

また、インテックは、既に延岡市と「地域創生における研究開発に関する連携協力協定」を締結している慶應義塾大学SFC研究所との共同ラボである地域ICTプラットフォーム・ラボラトリを運営しています。今回締結した連携協力協定の取り組みにおいて、インテックは、本ラボラトリでの災害時物資支援や教育ICT、エネルギー、通信など、さまざまな地域ICT研究開発や実証事業の成果を、延岡市において、社会実装に取り組むとともに、全国の先行となるモデル作りを目指していきます。



インテックがサテライトオフィスを開設したJR延岡駅前のビル

お問い合わせ先
株式会社インテック
ビジネスイノベーション事業部
クロスインダストリー企画部
E-mail: Smart_loTPF@intec.co.jp



「企業成長と障がい者活躍」をテーマにしたセミナーを開催 工場見学や意見交換会も実施

インテックは、D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)推進活動として、オムロン太陽株式会社(以下、オムロン太陽)にご協力いただき、「企業成長と障がい者活躍」をテーマとしたセミナーの開催、およびその後続活動として、工場見学・意見交換会を実施しました。

「企業成長と障がい者活躍」に関するセミナーは、2023年10月19日にインテック・豊洲ベイサイドクロスタワーで開催しました。当日は、最初に「企業の成長に必要な“とらえ直しの視点”」をテーマに、一般社団法人Yourchoiceの成澤俊輔氏による基調講演を行いました。その後、成澤氏をファシリテーターとして、障がい者雇用の先駆者であるオムロン太陽 代表取締役の辻潤一郎氏、インテック 金融ビジネス事業本部 事業企画部長の濱岡英雄が登壇。当事者×経営者×企画責任者それぞれの立場から、「障が

い者就労を起点に三者の視点で考察する企業の成長」と題して、①企業が障がい者就労に“なぜ”取り組むのか〜企業の成長〜、②企業の成長のために“なにを”するのか〜モノづくりか仲間づくりか〜、③“どうやって”企業を成長させるのか〜まずやる・みんなで作る〜、という3つの論点によるパネルディスカッションを行いました。セミナーは対面以外に、オンライン接続可能なハイブリッド方式にて開催し、152名(72社)が参加する、障がい者就労への高い関心がうかがわれるセミナーとなりました。

続いて2023年12月1日に、オムロン太陽(大分県別府市)にて、工場見学・意見交換会を実施しました。社会福祉法人 太陽の家の見学や工場・活動現場の見学に加え、オムロン太陽の社員の方にも参加いただき、「障がい者の就労課題の取り組み方」をテーマに、ディスカッションを行いました。13



セミナーの様子：左から、インテック 金融ビジネス事業本部 事業企画部長 濱岡英雄、オムロン太陽株式会社 代表取締役社長 辻潤一郎氏、一般社団法人Yourchoice 代表理事 成澤俊輔氏

名(8社)が参加し、非常に密度の濃い時間となりました。

インテックは今後も、多くの企業と一緒に取り組む「共創の場」作りに取り組んでいきます。

お問い合わせ先
株式会社インテック
ビジネスイノベーション事業部
ビジネスイノベーション部
Email: info_consulting@intec.co.jp

トランポリン代表選手が、表敬訪問のため豊洲オフィスに!

2023年11月にイギリス・バーミンガムで開催された、第37回世界トランポリン競技選手権大会に出場したトランポリン日本代表選手のみなさんと、日本体操協会の



2列目左から、山田大翔選手、石川和選手、堺亮介選手、西岡隆成選手、宮野隼人選手、藤田隆之介選手。1列目左から、田中希湖選手、宇山芽紅選手、森ひかる選手、佐竹玲奈選手、櫻井愛菜選手、三澤優華選手

方々がメダルを持って、2023年11月15日に、インテック・豊洲ベイサイドクロスタワーに訪れました。

今回の表敬訪問に伴い、インテックで行ったセレモニーでは、各選手から大会を振り返る一言や、インテック社員の質問に回答をいただき、社長の北岡隆之から選手のみなさんに激励の言葉を送りました。最後に、選手のみなさんに、TISインテックグループのキャラクターである魔人カナエッティ妹



能作のピアンブラーと箱入りのお花を選手にお渡ししました

のぬいぐるみキーホルダーをプレゼントしました。

インテックは、2019年から男女トランポリン日本代表のオフィシャルトッスポンサーを務めています。また、AI技術と画像解析を用いた演技解析システムを構築し、姿勢推定技術を活用したトランポリン競技をIT面からサポートしています。インテックは今後も、トランポリン日本代表を応援していきます。

お問い合わせ先

株式会社インテック
テクノロジー&マーケティング本部 広報室
E-mail: intec_pr@intec.co.jp

「伊那市中学生キャリアフェス2023」に出展

2023年11月16日に、インテックは、長野県伊那市(以下、伊那市)にある伊那市民体育館で開催された「伊那市中学生キャリアフェス*1 2023」に出展しました。インテックと伊那市は、2023年5月に「新しいまちづくりに関する連携協定*2」を締結し、地域ブランドの創出に向けたさまざまな分野での交流を掲げています。本イベントも「地域・社会の交流」「教育・文化の交流」の一環として、このたび初出展しました。

イベントには、伊那市の市内6中学校の2年生が577人参加し、出展事業者も83

団体が出展しました。インテックの出展ブースでは、先端技術研究所による姿勢推定AIのデモンストレーションや、会社紹介動画・資料などを用いた説明を行いました。

今後もインテックは、伊那市との「新しいまちづくり」に向けた情報交換や事業参画、さまざまな分野の交流を通じて、地域のまちづくりに貢献していきます。



お問い合わせ先

株式会社インテック
ビジネスイノベーション事業部
クロスインダストリー企画部
E-mail: Smart_IoTPF@intec.co.jp

*1 伊那市中学生キャリアフェス: 伊那市では、2014年12月にキャリア教育憲章を制定し、「地域で子どもを育てよう」子どもは地域の宝・地域の未来の基本理念の下、伊那市への愛着を深め、将来伊那市を支える人材を育成することを目的に、毎年11月に市内全ての中学2年生を対象に「伊那市中学生キャリアフェス」を開催しています。地域に関わりのある事業所や団体がブースを出展し、参加した生徒は出展ブースを巡って多くの大人とふれあい、語り合い、自身のキャリア(=生き方)を考える機会としています。詳細は以下のホームページを参照ください。

https://www.inacity.jp/kosodate_kyoiku/gakkokyoiku/shokubataiken/inashicareerfes/careerfes_ni_tsuite.html

*2 新しいまちづくりに関する連携協定: 2023年5月26日に締結。本協定に基づき、伊那市独自のスマートシティの構築、伊那市らしい地域ブランドの創出に向け推進していきます。詳細は下記のホームページを参照ください。

https://www.intec.co.jp/news/2023/0526_1.html

お客さまとインテックをつなぐ
広報誌「INTEC TODAY」デジタル化のお知らせ

広報誌「INTEC TODAY」の冊子版(紙)は、環境負荷低減とデジタル環境への移行推進の観点から、今号(「INTEC TODAY」第16号)をもって廃止いたします。

今後は旬な情報をいち早くお届けするデジタル版としてリニューアルし、インテック公式ホームページ(<https://www.intec.co.jp/company/intectoday/>)にて、イン

テックの今をお伝えしていきます。

デジタル版の「INTEC TODAY」は、2024年夏頃公開予定です。

みなさまからのご意見、ご感想を「INTEC TODAY」制作の参考にさせていただきますので、右記のアンケートフォームにアクセスの上、ご回答をお願いいたします。



◀アンケートに答える

<https://www.intec.co.jp/company/intectoday/>

お問い合わせ先

株式会社インテック
テクノロジー&マーケティング本部 広報室
E-mail: intec_pr@intec.co.jp